

研究施設訪問・ 校内学術講演 選択研修

開催日 令和8年 6月15日(月) 13:10~15:10

場 所 3つのうちから1つを選択(下表記載)

目 的 (1) 先端科学研究の現場を知り、講義や実習を通して科学技術等に関する興味関心を高める。
(2) 実際に研究に携わっている研究者から直接説明を聞き、職業としての研究職への理解を深める。

対 象 1年文理探究科 81名

生徒は、3つの訪問先・講座から1つを選び、研修に臨みました。

① 長崎県工業技術センター 訪問	(1)施設概要説明
② 長崎県環境保健研究センター 訪問	(2)施設での研究内容に関する講義 (3)科学に関する実験実習
③ 校内学術講演: 長崎総合科学大学 市瀬 実里 先生 「発達障害ってなんだろう？」	

①



②



③



生徒感想

- ① ・ 普段学校では見られない電子顕微鏡などの高度な設備を実際に見学でき、大変勉強になりました。加えて、鉄の棒を引っ張ってちぎる、金属材料の強度を測定する実験が迫力があり、科学的な視点で物事を考える重要性を改めて感じました。
- ② ・ DO(溶存酸素)測定実験では、初めて見る実験機材や薬品を使うことができて良かったです。色がどんどん変わり、化学変化が起きる瞬間はとても興味深かったです。
・ 今まで研究職というのは、大学や大学院などで働いている方々のことを指すイメージが強かったです。今回の研修を受けて、環境保健センターの皆さんのような「研究職」の方々が、生活を支えてくださっていると実感し、研究職に興味が湧きました。
- ③ ・ 発達障害(神経発達症といいます)の種類や特性について知ることができました。発達障害のグレーゾーンなど知らなかったことも多くありました。私は将来、臨床心理士やカウンセラー等の仕事に就きたいと思っているのでとても勉強になりました。